

CURRICULUM

カリキュラム

先進的・革新的なビジネスプランの策定を目指すカリキュラム

農業をこれから始める方は、雇用型インターンシップで実践研修を履修します。実践研修と講義の割合は9対1となっており、現場を通して先進的・革新的なビジネスプランの策定を目指す実践的なカリキュラムとなっています。なお、親元就農者や農業経営者、農業法人の従業員など既に農業に従事されている方は、雇用型インターンシップに代わり、自身の農業を営みながら講義を受講します。

経営革新プラン策定講座では、コーディネーターによるマンツーマンの支援のもと、先進的・革新的なビジネスプランの策定を目指します。プロジェクトマネジメント演習では、経営革新プラン策定講座で考えたビジネスプランに対し、三重大学大学院地域イノベーション学研究所西村教授と徹底的にディスカッションをすることで、ビジネスプランに対する考えを格段に深め、ブラッシュアップを図ります。経営学講座およびフードマネジメント講座では、外部から講師を招き、経営戦略や財務・労務管理、6次産業化や情報発信の手法など、自立した経営者を目指すにあたって必要な心構えや考え方を学びます。雇用型インターンシップでは、受入先の農業法人における年間1,500時間の実践研修を通して、生産管理の基礎を学び、さらに栽培状況に応じた管理方法の判断力や、より高度な技術を実践・習得することを目指します。

カリキュラム CURRICULUM

科目			時間	実施場所 / 方法等
プロジェクトマネジメント演習(必修)			15h	三重大学大学院 地域イノベーション学 研究科
経営革新プラン策定講座(必修)			36h	農業大学校
経営革新プラン検討交流会(必修)			4h	農業大学校
経営学講座(選択)	入門	農業情勢 農業生産工程管理(GAP) スマート農業概論 等	108h	農業大学校 / 養成科の講義
	基礎	実践経営論	27h	農業大学校 / 外部講師の講義等
		経営戦略		
		農業簿記、財務・労務管理		
		DX(デジタルトランスフォーメーション)		
		視察研修		
フードマネジメント講座(選択)	基礎	食品流通	6h	農業大学校 / 外部講師や食品産業 事業者の講義等
		6次産業化・情報発信		
特別講座(公開講座 / その他外部研修を利用)(選択)			10h	
雇用型インターンシップ等農業経営体での実践(選択)			1,500h	県内農業法人等
計			1,706h	

※カリキュラムは変更になる場合があります。

2024年11月版

みえ農業版MBA養成塾

三重大学農業大学校

MIE AGRICULTURAL COLLEGE

◆ お問い合わせ先

三重大学農業大学校 農業ビジネス人材育成課 〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530

☎ 0598-42-1260

✉ nodai@pref.mie.lg.jp

📠 0598-42-5835

HP <https://www.mie-agri-mba.pref.mie.lg.jp/>

三重県農林水産部 担い手支援課 担い手育成班 〒514-8570 三重県津市広明町13

☎ 059-224-2354

✉ ninaite@pref.mie.lg.jp

📠 059-223-1120

ABOUT「みえ農業版MBA養成塾」とは

若き次世代の農業ビジネス人材を育成する
養成塾を2018年4月に開設しました

未来の農業イノベーター募集！

本養成塾は、「農業をビジネスとして展開する起業家」や「農業法人のビジネスマネージャー」、
「農業を核に地域の活性化を図るイノベーター」などを志し、
自らビジネスプランを描ける経営センスを持った人材を発掘、育てることを目的に、
MBA(Master of Business Administration = 経営学修士)プログラムを提供する
ビジネススクールの農業版として三重県が設置したものです。
県内で新たに農業ビジネスを始めたい熱い想いや、
現在携わっている農業経営のイノベーションに取り組みたい意志を抱いている若者を、
産学官が強力に連携した「オール三重」の体制で支援することで、先進的・革新的な農業ビジネスを展開し、
やりがいのある質の高い就農の場を提供できる魅力的な農業経営者へと育成します。

みえ農業版MBA養成塾の特徴 FEATURE

周りを惹きつける魅力的な
農業経営を目指すための現場力



事業構想力を磨くプログラム

- **トップ法人での現場研修(雇用型インターンシップ)**
県内トップレベルの農業法人等で働きながら、本格的に農業ビジネスを学べる環境を提供します。
 - **未来の経営プランを構想**
農業経営のみならず、企業経営やリーダーシップ論などに加え、食品の流通・加工や GAP、
HACCP といった川上から川下までのフードマネジメントをトータルで学ぶプログラムを提供します。
 - **経営プランのブラッシュアップ**
本養成塾塾長の三重大学大学院地域イノベーション学研究科西村教授と、
自身が作成する経営プランについて議論・ブラッシュアップする機会を提供します。
- ※三重大学大学院地域イノベーション学研究科で学位取得を目指す方には、大学院と併学できる環境を提供可能です。

募集案内 APPLICATION

募集人数	3～5 名程度
年齢	入塾年度の4月1日時点で原則 45 歳未満の者。ただし、みえ農業版 MBA 養成塾長の意見を聴取のうえ、学校長が適当と認める場合は、この限りでない。
必要経費	①受講料(年間)118,800 円 ②その他経費(必要に応じて、教材書籍代など)

◆ 対象とする人材像

本養成塾では農業経験の有無によらず、次世代の農業経営を目指す次のような人材を求めます。



みえ農業版MBA養成塾塾長
三重大学大学院
地域イノベーション学研究科教授

西村 訓弘
NISHIMURA
NORIHIRO

地方、地域にこそチャンスがある。

「失われた 20 年」と評されるように、産業の停滞が生じている「地域」の現場では、地域に存在する資源や要素を再構築し、新しい価値を生み出す新結合(イノベーション)が求められています。特に農業は、場所によって土壌や気象条件が大きく異なることから、栽培品目や生産方法、投下する資源の組み合わせによって、全く異なる結果が生み出されることになります。農業は、様々な要素が結果(生み出す価値)に影響するからこそ、その要素の組み合わせ次第で、非常に大きな価値を生み出せる可能性を持合わせており、だからこそ、農業の分野はこれから非常に大きなチャンスがあると考えています。

10 数年前から、起業を志す若者と一緒に「創業塾」を行ってきました。県内各地に個性的なアイデアを持つ面白い若者が一定数いること、一方で彼らがそれを相談する相手がおらず孤立してしまっていることがわかり、そうした若者とともに勉強会を行ってきました。アイデアを叩いては練り直し、自ら「突き詰めて考える」習慣を得て、「らしさ」にあふれた面白いビジネスを手掛けるようになった若者を多数見てきました。

「みえ農業版 MBA 養成塾」は、この取り組みを発展させ、体系化しようという目的のもと、2018 年に始まったプログラムです。「農業版」と銘打っているものの、農業者だけに閉じているものではなく、三重県内の多様な業種にまたがる「オール三重」のネットワークの上に成り立っています。過去 10 年以上にわたって蓄積してきた三重県のネットワークを活用し、ご自身のビジネスキャリア・スキルを活かしながら、ぜひ新しい価値を生み出しましょう。皆さんのチャレンジをお待ちしています。